

	桔梗が丘自治連合協議会定時総会議事録
日 時	平成24年5月19日(土) 午後1時30分～4時45分
場 所	桔梗が丘公民館・講堂
出 席 者	平成23年度評議員27人 平成24年度評議員29人 自治連合協議会理事17人 自治連合協議会監事 2人(氏名は別紙)
1. 開会の辞	山中事務局長が司会をつとめ、平成24年度桔梗が丘自治連合協議会定時総会の開会を宣した。
2. 会長挨拶	辻森会長から、開会に際し挨拶があった。 (要旨) 桔梗が丘自治連合協議会の定時総会に参加いただき感謝申し上げます。 現在の組織は3専門委員会と6事業部会が広範囲な活動を進めているが、今後は地域ビジョンと連携して推進していく。 評議員各位を始め、地域住民の皆さんには、災害に強い街づくり、住み良い街づくりに一層のご協力をお願いする。 本日は、最後まで審議をよろしくお願いする。
3. 来賓紹介と挨拶	司会者から、本総会に出席いただいた来賓5名の紹介があり、来賓を代表して前田國男名張市副市長からお祝いの挨拶があった。 (来賓) 名張副市長 前田 國男 氏 名張市議会議員 川合 滋 氏 名張市教育長 上島 和久 氏 名張市地域部長 奥村 和子 氏 名張警察署桔梗が丘交番所長 中村 健太郎 氏 (前田副市長挨拶要旨) 本日の定時総会の開催のお祝いを申し上げます。 貴協議会が各種の事業を通じて、安全・安心のまちづくりを目指し、

	<p>地域住民のために、地域福祉、青少年健全育成、快適環境、健康づくりに尽くしておられることに敬意を表すと共にお礼を申し上げます。</p> <p>名張市に於いては「地域づくり」に関して、市内15地区に対して「地域ビジョン」の策定をお願いし、平成24年3月3日(土)、全地域の発表会を開催した。また、今春の機構改革で地域経営室を地域部とし、昨年度、各地域づくり組織で策定された、地域ビジョンの実現に向けた調整等をさせていただき地域担当監を3名置いた。</p> <p>今後とも、市行政と連携しながら、地域づくりが発展するようにご尽力いただきたい。</p> <p>司会者から、当地区の地域担当監は森田徳忠氏が就任された旨紹介があった。</p> <p>(来賓の前田副市長挨拶のあと、来賓退席、奥村部長は在席)</p> <p>4. 議 事</p> <p>(1) 総会成立宣言 司会者から、「本日の総会は協議会規約第18条の規定に基き、評議員定数40名以内のところ27名の出席があり、評議員の過半数が出席しており、本総会は有効に成立している」と述べた。</p> <p>(2) 議事録署名人選任 本定時総会の議事録署名人に8番町1区の澤田進氏と南3番町の西幸雄氏の2名を選任し承認された。</p> <p>(原田議長、石川副議長着席)</p> <p>(3) 議長あいさつ 原田議長、石川副議長着席し、原田議長から、平成24年度の定時総会の議長を務めさせていただく。皆様、活発な審議をお願いするとともに、皆様のご協力でスムーズに進行するようによりしくお願いすると挨拶があった。</p> <p>引き続き石川副議長の挨拶があった。</p> <p>(拍手)</p> <p>議長から、議事に入る前に、「規約により、傍聴者の方は発言権はないのでよろしくお願いする」と述べた。ご意見のある方は、各地区から選任された評議員を通してご発言いただきたい。携帯電話はマナーモードにいただきたい旨を述べた。</p>
--	---

<p>(4) 議案第1号平成23年度事業報告及び協議会会計決算の承認に関する件</p> <p>(事業活動報告)</p>	<p>原田議長：本総会資料に基づき会議を始めます。まず議案第1号平成23年度事業報告及び協議会会計決算の承認に関する件及び議案第2号平成23年度公民館事業報告及び会計決算の承認に関する件の2議案を一括議題とします。執行部は提案説明をして下さい。尚、説明は短時間で要領よくお願いしたい。</p> <p>(各委員会・部会の事業活動報告の要旨)</p> <p><総務委員会></p> <p>大垣副会長（総務委員長）から、総務委員会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。</p> <p>大垣総務委員長の報告の要旨(具体的な内容は資料4ページ参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務委員会の事業計画は5項目掲げたが、ほぼ全項目にわたってほぼその目的を達成できたと思う。 ・ 平成23年5月7日(土)午後1時30分から定時総会開催。予定された議事は全て承認された。理事会、自治連合会の定例会もほぼ毎月開催した。公民館運営審議会は2回開催。 ・ 規約・規則の改定は、桔梗が丘自治連合協議会自主防災隊規約、災害時要援護者支援制度にかかる個人情報取扱規則を定めた。 ・ 財政の安定化のための積立金は当初の予定通り計上できた。 ・ 公民館との協働事業として10月に講演会を実施した。 ・ 事業の成果を高める為の講演会(5月22日(日))と「まちづくり」に生かすための具体的事例研究の研修会(6月22日(日))を実施した。 ・ 講演会と研修会は今後の協議会の運営及び活動に向けて大変有意義であったので、今後も進めていきたい。反省点は実施の告知方法と参加者の確保に工夫が必要。 <p><企画運営委員会></p> <p>阪本企画運営委員長から、企画運営委員会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。</p> <p>阪本企画運営委員長の報告の要旨(具体的な内容は資料6ページ参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年度から引き続き、地域ビジョンの策定作業を重点的に進めた結果、昨年10月末に最終案が出来上がった。 ・ 地域ビジョン(最終案)は、昨年10月30日(日)の住民説明会の実施、11月19日(土)開催の桔梗が丘自治連合
---	---

協議会臨時総会にて正式に承認され、6つの基本的方向指針と7つのプロジェクト事業から成る「桔梗が丘“ほっとまち”構想」が新しい地域ビジョンとしてスタートした。

- ・ その後、平成24年3月3日（土）名張市内15地域の地域ビジョン発表会に参加、3月5日（月）には桔梗が丘地域内全家庭に、その冊子を配布した。
- ・ 平成24年度に入って、プロジェクト推進チームを設置して、地域ビジョンの具体化に向けた検討会議を開催している。
- ・ 7つのプロジェクト事業の実施時期、実施に向けての優先順位等を検討していく。
- ・ その他のパイロット事業の推進の一環として、実験的なガレージベンチの設置やコミュニティビジネスの検討を始めるにあたり、つつじが丘地区の視察、ライフサポートセンターの資料を入手した。
- ・ 事業部会への支援は各種事業の応援をした。
- ・ 事業部会への提案、事業評価システムの検討については、地域ビジョン策定後の作業と捕らえ、今年度は未着手であった。
- ・ 予算執行は350,000円の予算に対し、地域ビジョン冊子の作成費305,550円を計上した。

<広報委員会>

野邊広報委員長から、広報委員会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。

野邊広報委員長の報告の要旨（具体的な内容は資料8ページ参照）。

- ・ 広報委員会の活動の役割は、協議会と住民の皆さんとコミュニケーションをとっていくこと、各住民の持ついろいろな要望を吸い上げ、事業に反映させていく事と思っている。未だ当初の計画通りには、充分成果は出ていないが、今後も重点的に取り組み、努力していかなければならないと考えている。
- ・ 特に住民の意向を汲み取ることが充分出来ていない。
- ・ 広報委員会は実現の為、二つのツールをも持っている。（ききょう通信、ホームページ）
- ・ ききょう通信は予定通り年5回発行できた。また今年の3月には50号の節目をむかえることが出来た。内容はもっと地域に密着した事を取り上げて行きたい。
- ・ ホームページについては、年度当初は更新が遅れていたが、

最近は改善されている。(平成24年1月から4ヶ月間でアクセス数が1463になった。)

- ・ こうした広報活動にも、広範囲な住民の皆さんの意見を取り入れたいと思っていたが、十分なことが出来なかったので、平成24年度は、この面の作業に力を注ぎたいと考えている。皆さんのご協力をよろしく願いたい。

<健康推進部会>

高槻健康推進部会長から、健康推進部会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。

高槻健康推進部会長の報告の要旨(具体的な内容は資料10ページ参照)。

- ・ 敬老の日の行事として、平成23年9月17日(土)に70歳と88歳の方に長寿記念品、70歳以上の方にお祝い品を贈った。
- ・ ききょう健康まつりを開催。今年はウォーキングと健康まつりを別々に実施した。ウォーキングは平成23年10月29日、四季の里へのウォーキング・参加者40人。11月6日の健康まつりは例年通り各種の健康チェックを実施した。合計250人の参加があり、特に健康測定は例年どおり好評であった。
- ・ ニュースポーツ世代間交流大会を平成24年3月24日に開催。天候が悪くグランドゴルフは中止したが、参加者は47人あり、そのうち子供は21人と好評でした。
- ・ 桔梗が丘体操会との協働事業は予定どおり進めた。
- ・ ききょう健康講座として、ベルフラワー教室の開催、「大腸がんを知る」と題した三重大医学部附属病院の井上医師の講演会の実施、「集団がん検診」を昨年11月20日に実施した。住民の皆さんの関心も高く、好評であった。
- ・ 「桔梗が丘げんき通信」を8回発行した。今後は内容を充実させる。
- ・ 名張市の健康講座への参加を予定していたが、平成23年度は開催されなかった。
- ・ 予算執行は2,360,000円の予算に対し、2,199,710円を計上した。

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長から、住民交流部会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。

廣岡住民交流部会長の報告の要旨(具体的な内容は資料12ページ参照)。

- ・ 住民交流部会は、地域住民の参加により、住民相互の親睦と絆を深める事を目的として交流の場を提供した。
- ・ その目的達成の行事として「ききょう夏まつり」と「ハッピーニューイヤーききょうフェスタ」を実施した。
- ・ 地域コミュニティを築いていくのは難しいが、壊れるのは簡単です。これをも守るためにも意義のある行事として行きたい。一方、地域住民の方にも交流の場としての重要性が認知されつつあると感じている。
- ・ 夏まつりは平成23年8月20日(土)開催。今年が8回目の開催となったが、住民の方には、見るより参加していただきたいと考えてきたが、手作り模擬店の増加が成果となって表れてきた。又、当部会は骨子の計画を作成するだけで、実際の実施運営は自治連合会が中心となった実行委員会が担い、地域全体で創る行事となってきた。
- ・ 当日、天候が少し心配されたが、無事実施することができた。参加者にも大変好評であった。
- ・ 一部内容が変更になった(桔梗丘高校吹奏楽パレード中止)が、課題としては、まつりの実施の有無の告知方法があったと考えている。
- ・ 従って、その影響か参加者が例年より微減。
- ・ ハッピーニューイヤーききょうフェスタは当部会が企画し、地域の子ども達を対象とした催しですが、地域福祉部会、教育文化部会の協力を頂いて実施し、無事終了した。
- ・ 平成24年1月9日(月・祝)は、2番町どんど保存会の協力で「どんど行事」を実施したが、地域の伝統行事として年々参加者が増え、賑やかに開催することができた。
- ・ 次年度への課題は、どんどの参加者が増加しているので、予算の配分方を考慮したい。
- ・ 夏まつりの次年度への課題は、商店街の空き店舗を利用させてもらって、高齢者向けの休憩所、緊急の医務室等の設置。
- ・ 予算執行は1,100,000円の予算に対し、1,077,

034円を計上した。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、教育文化部会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。

竹原教育文化部会長からの報告の要旨。(具体的な内容は資料13ページ参照)。

- ・ 当部会は地域の子ども達が大人と共に学びながら触れ合うことを目的に次の事業を実施した。
- ・ 桔” ずセミナーを夏休み4回、冬1回開催した。これは料理、科学を始めとする講座を地域の子どもを対象にして実施した。参加者の子ども達は勿論、多くの大人のボランティアさんの協力もあり有意義な催しでした。
- ・ 夏のコースでは「桔梗夏まつり」に、冬のコースでは「ハッピーニューイヤーききょうフェスタ」にも参加して成果を発表、子ども達の為にも良かった。
- ・ 第15回の「青少年が語る心の思い発表会」を例年通り桔梗が丘公民館展に合わせて開催。歴史のある行事で地域住民の方にも好評でした。
- ・ ふるさと歴史ハイキングを今年度は「秋の滝之原を歩こう」と題して実施。参加者は79人。子どもの参加者増が課題。
- ・ 私の一冊文庫は、地域の子ども達に本の読み聞かせをするボランティア事業で毎月第3土曜日に開催した。今年初めて、公民館で絵本展を開催した。
- ・ 予算執行は385,000円の予算に対し、367,643円を計上した。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、生活安全部会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。

吉野生活安全部会長の報告の要旨(具体的な内容は資料15ページ参照)。

- ・ 普通救命講習会を2回開催した。場所は名張消防署の研修室。参加者は昨年5月14人、平成24年3月は13人でした。毎回の参加者を25人としているので、今後は参加への啓蒙に力を入りたい。平成19年9月に第1回を開催して以来、

	<p>これまで11回開催し、234人の方が受講した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度もAEDのリースを継続し、リース代を計上した。 ・防犯パトロールを6人の隊員で、毎月4回2台の青色回転灯装着車で行った。活動費は1回200円を支給。今後の課題は隊員の確保です。 ・命の笛を例年通り地域の3小学校の新生と転校生及び笛を無くした児童に贈呈した。 ・地域内の危険箇所の解消、改善に取り組んだ。成果も出ているので、次年度も継続して取り組む。 ・桔梗が丘自治連合協議会の自主防災隊規約が制定され、防災体制づくりの基礎が出来たので、今後はこの規約に沿って活動していく。要援護者支援制度の概要もできた。課題はこれをどのように生かしていくのか、自治連合会の協力のもと、当部会も協力して行きたい。 ・その他、地域内の道路標示の改善に取り組んだ。その成果も出た。 <p><快適環境部会></p> <p>加納快適環境部会長から、快適環境部会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。</p> <p>加納快適環境部会長の報告の要旨(具体的な内容は資料16ページ参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当部会は、①地球温暖化対策事業、②地域環境保全・教育啓発事業、そして③環境美化啓発事業の3事業に取り組んだ。 ・地球温暖化対策事業として、昨年5月8日(日)に地域の家庭にゴーヤの苗を2000株配布した。(630人)地域の公共施設にも配付。 ・そのあとゴーヤ料理教室、我が家のゴーヤ自慢写真展、ゴーヤお持ち帰りコーナーの設置などを実施し、地球温暖化防止啓蒙に一役買った。平成24年度も実施したいと考えている。 ・地域環境保全・教育啓発事業として、昨年6月ゲンジボタル観賞会を桔梗が丘南公民館とシャククリ川で実施し(参加者約150人)した。本年1月8日(日)には、バードウォッチングを10号公園と西徳明池で実施した。参加者は約50人。 ・ここまでの事業は(財)自治総合センターからの助成事業とし
--	--

て実施した。助成額は50万円。

- ・ 環境美化啓発事業として、昨年6月5日（日）の名張市クリーン作戦に賛同して「桔梗クリーン作戦を実施。参加者は30人。別途に3番町自治会が団体参加（40人）をした。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、地域福祉部会の活動内容について、総会資料に基き概ね次のような報告があった。

梅本地域福祉部会長の報告の要旨（具体的な内容は資料18ページ参照）。

- ・ 高齢者・障がい者への友愛訪問を毎月一回「陽だまり」を持って安否確認に訪れた。
- ・ 年末には75歳以上の1人暮らし等の、見守りが必要な方々に「年末友愛訪問」を実施した。
- ・ 平成23年5月29日（日）「高齢者のつどい」を地域の80歳以上の方を対象に実施した、参加者は158人。参加費は1人500円
- ・ 地域内14箇所で開かれているいきいきサロンに補助金を支出。
- ・ 例年通り地域内7箇所のグループホームの交流会を昨年11月に実施した。障がい者20人、ワーカー6人、民生委員23人が参加。
- ・ 赤ちゃんちびっ子なかよし広場を実施した。
- ・ 配食サービスを行っている「友～友」「いこい」の両グループに協働事業として参画した。
- ・ 予算執行は1,100,000円の予算に対し、1,065,990円を計上した。

(会計決算報告)

引き続き議長から、平成23年度協議会会計の決算報告を求めた。大垣副会長（総務委員長）から、協議会会計決算報告が、資料に基き概ね次のように説明があった。

<協議会会計決算報告の概要・総会資料20ページ参照>

収入の部、支出の部とも項のみ記載。日は資料参照。

収入の部	予算額	決算額
会費	1,000,000円	1,000,000円
交付金	10,915,200円	10,919,470円

	補助金	260,000円	270,700円
	助成金	552,340円	552,340円
	報償費	210,000円	210,000円
	雑収入	10,000円	46,433円
	繰越金	5,655,050円	5,655,050円
	合計	18,602,590円	18,653,993円
	支出の部	予算額	決算額
	総務費	3,187,000円	2,247,036円
	企画運営費	350,000円	305,550円
	広報費	322,000円	301,820円
	健康推進費	2,360,000円	2,199,710円
	住民交流費	1,100,000円	1,007,034円
	教育文化費	385,000円	367,643円
	生活安全費	170,000円	130,910円
	快適環境費	597,000円	558,389円
	地域福祉費	1,100,000円	1,065,990円
	積立金	1,200,000円	1,200,000円
	予備費	1,000,000円	0円
	コミュニティ活動費		
		5,131,200円	5,131,200円
	報償費	210,000円	210,000円
	次期繰越金	1,490,390円	3,928,711円
	合計	18,602,590円	18,653,993円
	本年度は助成金が55万円余あったので、少し助かった感があるが、全体としては決して楽な状況ではない。		
	積立金の残高は、平成24年3月末現在、財政調整積立金100万円、自然災害積立金100万円、車両買換積立金80万1千円となっている。		
(監査報告)	議長は、平成23年度協議会会計の監査報告を求めた。		
	東監事からの監査報告。		
	「去る、4月18日(水)会計監査、4月28日(土)業務監査を、田合監事と東が監査を実施した。」		
	「平成23年度協議会会計について、出納帳及び会計帳簿等の関係書類を確認し監査した結果、いずれも適正に処理されている。		
	業務監査については、全ての事業に参画は出来なかったが、各種		

<p>(4) 議案第2号平成23年度公民館事業報告及び会計決算の承認に関する (事業活動報告)</p>	<p>の事業報告書及び理事会での決済を通じて報告を頂いた。いずれの事業も地域住民を対象に活発に展開されたと感じている。各事業部会のメンバーの方の努力にお礼を申し上げる。以上を平成24年度の監査報告とさせていただきます」と述べた。</p> <p>引き続き議長から、議案第2号平成23年度公民館事業報告及び会計決算の説明を求めた。</p> <p>森永理事(公民館長)から、平成23年度公民館事業内容について、総会資料に基き概ね次のような説明があった。</p> <p>「公民館事業の概要としては、主催講座は13講座を開催した。夏期大学講座は4講座、その他行事として3行事を実施した。又、総会資料に記載は無いが10月22日(土)23日(日)に第27回の公民館展を開催した。」</p> <p>「学級・講座は記載の通りですが、「タッチ・ザ・サイエンス」は子ども向けの科学遊びを通じた仲間作りの教室。平成23年度から開講した「農を楽しむ」は当初の予想を上廻る成果を挙げた。「メンネルコール桔梗」は男性向けに年間34回開講した。もう一つ男性向けに「活男厨房」と称する料理教室を開き71人の参加者があった。「シニアクラス」は高齢者向けに、色々なジャンルの学習を通して絆づくりをする等、それぞれの講座が資料記載のような目的を持って実施した。</p> <p>「夏期大学講座」は4回で述べ385人受講された。(有料の講座)「プチコンサート」を始めとする「ロビーコンサート」、「映画鑑賞会」の3行事は記載のような集客があり、年々盛んになってきた。今後とも継続していきたいと考えている。」と述べた。</p>								
<p>(会計決算報告)</p>	<p>松村理事(事務局次長)から、平成23年度公民館会計決算が総会資料に基づき次のような報告があった。</p> <p><公民館会計決算報告の概要></p> <p>収入の部、支出の部とも「項」のみ記載。「目」の詳細は決算書を参照。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">収入の部</td> <td style="width: 30%;">予算額</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;">決算額</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>15,022,000円</td> <td></td> <td>15,022,000円</td> </tr> </table>	収入の部	予算額		決算額	指定管理料	15,022,000円		15,022,000円
収入の部	予算額		決算額						
指定管理料	15,022,000円		15,022,000円						

	<p>使用料等 3,820,000円 3,980,816円</p> <p>その他収入等 200,000円 199,886円</p> <p>繰越金 6,094,921円 6,094,921円</p> <p>合計 25,136,921円 25,297,623円</p> <p>支出の部 予算額 決算額</p> <p>人件費等 9,400,000円 8,925,417円</p> <p>管理費 9,990,000円 9,074,348円</p> <p>運営費 2,170,000円 1,663,627円</p> <p>消費税 450,000円 457,100円</p> <p>予備費 1,000,000円 0円</p> <p>繰越金 2,126,921円 5,177,131円</p> <p>合計 25,136,921円 25,297,623円</p> <p>引き続き、平成23年末の財産目録の金額を報告した。</p>
(監査報告)	<p>議長は、平成23年度公民館会計の監査報告を求めた東監事からの監査報告。</p> <p>「去る、4月18日(水)公民館会計の監査を、田合監事と東が監査を実施した。」</p> <p>「平成23年度公民館会計について、出納帳及び会計帳簿等の関係書類を確認し監査した結果、いずれも適正に処理されている。」と述べた。</p>
(質 疑)	<p>議長：議案第1号及び議案第2号について質疑を行います。発言される方は、お住まいとお名前を告げて発言をして下さい。</p> <p>又、発言は評議員に限らせていただく。ご了承いただきたい。</p> <p>南2番町・田中評議員：公民館会計に財産目録があるが、協議会会計にはない訳は？ 繰越金内訳は？</p> <p>大垣総務委員長：繰越金3,928,711円は全て預金残高です。手許現金は所持していない。従って財産目録は作成していない。</p> <p>4番町・辻井評議員：2点お伺いしたい。</p> <p>先ず、繰越金の問題ですが、多分市内の公民館全ての傾向と思うが、残高が多いように感じる。も少し効率的に運用し(例えばコピー使用料の引き下げ)、出来るだけ少ない方が良いのではないかと。</p> <p>次に、事業費をもう少し使ってはどうか。様々な活動があるので偏</p>

った事は出来ないと思うが、有効に使う方法はあると考える。また管理費も経費節減が前提ではあると思うが、必要などころには（例えば備品購入等）支出していただくよう考慮いただきたい。

大垣総務委員長：市側でも多額の繰越金を問題視する傾向があるようであるが、この繰越金は過去の地域内の各種団体が残されたものを、組織の一体化と共にまとめた結果と捉えている。一方、今後市からの交付金も減額される傾向にあり、総合的に判断して相応の額ではないかと捉えている。従って今後は市側の対応が見えるまでは積立金等で対処したい。

山中事務局長：500万円余の繰越金があるが、これは先人が経費の節減と効率的な運用の結果と捉えている。今後も無駄を省き指定管理制度の下で公民館運営をしていくが、平成24年度以降は施設の老朽化等の対策、古い備品の買い替え等、使いやすい館のために費用をかけて行きたいと考えている。詳細については、平成24年度予算案でご説明したい。これがある程度繰越金の減につながると考えている。

大垣総務委員長：公民館運営審議会でも同様の意見があり、古くなった備品の入替え等をしていくことになっている。（印刷機、プロジェクター、アンプ等）

南1番町・栃下評議員：南一番町の区長からの質問を2点伺いたい。まず、公民館会計の消費税の計上が一行に計上された根拠はなにか。次に消費税457,000円が決算書に計上されているのに（支払済みではないか）、財産目録に未払いとなっている理由は何か。

松村事務局次長：消費税の根拠は収入に（指定管理料・使用料収入等）に対するもので、品物の購入支出に伴う税額ではない。

議長：昨年度も同様の質問があったと記憶しているが、公民館は収益事業者として位置付けられる為、その収入に対して課税をされるとの理解で良いと考える。この支払いは決算後1ヶ月以内に納めることになるので、現在未払いとなっていると理解している。

田合監事：只今の議長の説明の通りで間違いはない。簡易課税方式計算は容易であるので、詳細欄のコメントの必要はないと考える。

東監事：決算書であるので、備考にコメントの必要はない。未払いのため、財産目録を付けることで良い。

田合評議員：評議員で消費税の計算根拠が必要であれば、事務局で別途対応されるのが良い。

山中事務局長：その対応はいつでもさせて頂く。

8番町1区（快適環境部会）坂口評議員：総務委員会の活動報告を中心に2～3点お聞きしたい。

1. 協議会会計の財務内容の点検の結果と、財務方針の方向について。
2. まちづくりに成功している市町村の視察を実施した、具体的成果について聞きたい。
3. 部会報告に評価と反省というコメントがあるが、企画運営委員会が未着手であった事業部会の事業評価システムについて今後の取り組みについて考え方を聞きたい。

以上3点お尋ねしたい。

大垣総務委員長：財務方針については、各積立金の内、車両買換は毎年積み立てる。財政調整、自然災害両積立金は、余裕のある年度のみとしている。次年度（24年度）は出来ないと考えている。

協議会会計の先行きの財務は厳しくなると予想される。その時に備えて、今後はより効率的な運営をしたいと考えている。

視察については、長浜は次元が違うように思われた。彦根市の夢キャスルロードのまちづくりの経緯は大変参考になった。具体例を含めた担当者の方の話は参考になった。

事業部会の事業評価システムは、企画運営委員会は地域ビジョンで手一杯で、出来なかったと感じている。

更に名張市で新しいゆめづくり協働支援事業が始まることもあり、いまし時間を与えていただきたい。

阪本企画運営委員会委員長：現在7名の委員で担当している。

現在は事業部会の活動は理事会の承認後実施されているが、その評価にあたっては目的に沿って進められたか、目標が達成されたかの2点と考えている。事業の実施内容は、多くの方が実際に参加した時の意見を取り入れ、今後は企画運営委員を増員して、実行できるようにしたいと考えているので、ご協力をお願いします。

原田議長：その他質問がないようなので採決に移ります。議案第1号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。

全員賛成であります。よって、議案第1号は原案のとおり承認されました。

引き続き議案第2号について、承認されます評議員の挙手をお願い

	<p>します。</p> <p>全員賛成であります。よって、議案第2号は原案のとおり承認されました。</p> <p>以上で、議案第1号、議案第2号の審議が終了しましたので退席いたします。ご協力有難うございました。</p> <p>(拍手)</p> <p>司会者：ここで15分間休憩をいたします。その間に評議員・理事の方の席換えをいたします。</p> <p>(平成24年度新評議員着席)</p>
<p>(5) 総会成立宣言</p>	<p>司会者：会議を再開いたします。新評議員によります本総会は、協議会規約第18条の規定に基づき評議員定数40名以内のところ29名の出席であり、評議員の過半数が出席しておりますので、本総会は有効に成立しております。</p>
<p>(6) 議長・副議長選任</p>	<p>司会者：引き続き議長、副議長の選任をお願いいたします。どなたか立候補の方はございませんか。</p> <p>(司会者一任の声)</p> <p>司会者：司会者一任の声を頂きましたので、議長に原田忠義氏、副議長に石川鈴代氏をお願いしたいと存じますがいかがでしょうか。</p> <p>異議なしの声があり、全員拍手をして承認された。</p> <p>(議長・副議長着席)</p> <p>原田議長と石川副議長は、前年度に引き続き務めさせていただくので、よろしく願いする旨、挨拶があった。</p>
<p>(7) 議案第3号桔梗が丘自治連合協議会会長及び理事等の承認に関する件</p>	<p>原田議長：それでは議事に入ります。議案第3号桔梗が丘自治連合協議会会長及び理事等の承認に関する件について説明をお願いします。</p> <p>大垣総務委員長：協議会規約第30条の規定により、本総会で任期満了となる協議会会長、副会長、理事及び監事の後任の選任にあたり、次の方々を候補者として、ご承認をいただきたいと思います。</p> <p>会長 辻森 保蔵 (自治連合会代表幹事)</p> <p>副会長 大垣 孝彦 (総務委員長)</p> <p>副会長 上田 博 (自治連合会副代表幹事・第3ブロック幹事)</p> <p>理事 河合 進 (自治連合会第1ブロック幹事)</p>

<p>(8) 新会長あいさつ</p>	<p>理事 武仲 元男 (自治連合会第2ブロック幹事)</p>
	<p>理事 東 弘文 (自治連合会第4ブロック幹事)</p>
	<p>理事 阪本 忠士 (企画運営委員長)</p>
	<p>理事 野邊 薫 (広報委員長)</p>
	<p>理事 高槻 茂夫 (健康推進部会長)</p>
	<p>理事 廣岡 貞之 (住民交流部会長)</p>
	<p>理事 竹原 啓子 (教育文化部会長)</p>
	<p>理事 吉野 孝司 (生活安全部会長)</p>
	<p>理事 加納 康嗣 (快適環境部会長)</p>
	<p>理事 梅本 久子 (地域福祉部会長)</p>
	<p>理事 中村 満 (公民館長)</p>
	<p>理事 山中 晃 (事務局長)</p>
	<p>理事 松村 勲 (事務局次長)</p>
	<p>監事 田合 豪</p>
	<p>監事 福森 譲</p>
	<p>の19名です。</p>
	<p>議長：議案第3号について質疑を行います。発言される方は、お住まいとお名前を告げて発言をして下さい。</p>
	<p>議長：質問がないようなので採決に移ります。議案第3号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。</p>
	<p>全員賛成であります。よって、議案第3号は原案のとおり承認されました。</p>
<p>ここで新会長の辻森さんから挨拶があります。</p>	
<p>辻森新会長の挨拶の要旨</p>	
<p>新役員ご承認ありがとうございました。</p>	
<p>桔梗が丘をこれまで以上の住みよいまちにする為、努力して行きたいと改めて感じている。</p>	
<p>桔梗が丘に住んでよかったと感じるためには、まちづくりに参画しておられる多くの住民の方や、ボランティア団体、及び行政側と連携していかねばならないと考えている。</p>	
<p>本年度は、これまでの各部会の活動は勿論、新しい「地域ビジョン」の推進によって、更に住み良い町の具現化に取り組んでいきたい。</p>	
<p>そのためには、各種活動に、これまで以上の住民各位の参画を期待している。</p>	
<p>東日本大震災の後、地域の自主防災対策について検討を重ねて、</p>	

<p>(9) 議案第4号平成24年度事業計画及び協議会会計予算の承認に関する件</p>	<p>各自治会・区の自主防災組織を再編した。又高齢者の見守り対策や減災対策を進め、防災対策を更に充実させていく。しかしここでも重要なことは身近な近隣同士の絆作りになってくる。</p> <p>協議会としては、平成24年度の宝くじの地域防災組織育成助成事業を受けられることが決定したので、この助成で得られる備品を有効活用して、防災訓練等の充実を図りたい。</p> <p>桔梗が丘のまちづくりの推進は、地域住民一人一人の力を結集することがもっとも大切と考えるので、皆さんのより一層のご協力をおねがいする。</p> <p>議長：議案第4号平成24年度事業計画及び協議会会計予算の承認に関する件及び議案第5号平成24年度公民館事業計画および会計予算の承認に関する件について一括審議をします。執行部の説明をお願いします。</p> <p><総務委員会></p> <p>大垣総務委員長から、平成24年度総務委員会の事業計画（案）について、次のような提案説明があった。</p> <p>昨年同様に事業計画書案のNO.1～4までは「各種会議の運営」、「規約・規則等の制定、改正など」総務委員会の役割を定めている。NO.5には「協議会事業の成果を高めるための後方支援」としての2つの事業を計画している。</p> <p>(ア) 地域ビジョン実現のための講演会を年2回開催。 予算額176,200円</p> <p>(イ) 地域ビジョン実現のための視察・研修 「具体的な内容は地域ビジョン推進プロジェクトの進捗状況と成果を見ながら進めて行く予定をしている」と述べた。</p> <p>引き続き、協議会全体の総務費予算で特徴を2点説明があった。</p> <p>人件費470万円は昨年度は公民館会計に全額計上されていたが、本年度は半額がゆめづくり交付金に入ってきた。もう一点はビジョン新規事業費は、地域ビジョンの推進にあたっての必要な事業費として総務費に計上した。</p> <table border="0"> <tr> <td>1) 人件費</td> <td>4,700,000円</td> </tr> <tr> <td>2) 費用弁償費</td> <td>350,000円</td> </tr> <tr> <td>3) 会議費</td> <td>250,000円</td> </tr> <tr> <td>4) 研修費</td> <td>300,000円</td> </tr> </table>	1) 人件費	4,700,000円	2) 費用弁償費	350,000円	3) 会議費	250,000円	4) 研修費	300,000円
1) 人件費	4,700,000円								
2) 費用弁償費	350,000円								
3) 会議費	250,000円								
4) 研修費	300,000円								

5) 防犯防災費	200,000円
6) 備品購入費	500,000円
7) 事務費	400,000円
8) ビジョン新規事業費	1,000,000円
9) 雑費	500,000円

<企画運営委員会>

阪本企画運営委員長から、平成24年度企画運営委員会の事業計画(案)について、概ね次のような提案説明があった。

「企画運営委員会の事業計画としては、先般策定された地域ビジョンの7項目のプロジェクト事業の内、本年度中に具体的な取組みが決定した事業の費用は、総務費に100万円が計上された。

現在、事業実施に向けて優先順位をつけて検討を進めているが、来月には何らかの方向が出せる。従って当委員会は、重点プロジェクト推進の為の諸費用(パンフレット、ポスター作成費、事業説明会費用等)、及び未着手地域ビジョン重点プロジェクト事業の情報収集経費を計上した。

事業部会に対する新規事業の提案、支援は地域ビジョンの推進の中で行き、事業評価システムの検討も合わせて行って行く。

以上の結果、本年度の予算の総額は300,000円になる。」と述べた。

<広報委員会>

野邊広報委員長から、平成24年度広報委員会の事業計画(案)について、概ね次のような提案説明があった。

「当委員会は、平成24年度は新しい気持で広報活動に取り組んで行きたい。具体的には、ききょう通信、ホームページがマンネリ化しないように、地域住民の皆さんに満足頂けたのか、双方向の情報交換の方法等も含めて探って行きたい。そのためには、今もっているツールのききょう通信・ホームページの編集、更新を更に工夫をしていく必要があると考えている。

予算額は、この2つの事業を通じて、地域住民の方にタイムリーな情報の発信をするために、とくにホームページを充実させるための費用を見込んで昨年度より多い総額385,000円を計上した。」と述べた。

<健康推進部会>

高槻健康推進部会長から、平成24年度健康推進部会の事業計画(案)5事業について、概ね次のような提案説明があった。

全体計画の概要は前年度とほぼ同様になる。

1. 敬老の日の行事

地域の高齢者の方への感謝と長寿を祝い、70歳と88歳の方に長寿記念品、70歳以上の方にお祝い品を贈呈する。

予算額 1,650,000円。

2. ききょう健康まつり

地域の皆さんが健康について考え、暮らしの中の健康づくりについて再認識するきっかけづくりとする。

ウォーキングを平成24年10月27日(土)、健康まつりは平成24年11月4日(日)に実施する。内容は前年どおり。

予算額 400,000円。

3. ニュースポーツ世代間交流大会

各種のスポーツを通じて地域内の世代間交流の場を提供し、活力のある地域社会を推進する。

実施は平成25年3月23日(土)。グランドゴルフ、クロリティー、カローリング等を実施する。

予算額 60,000円。

4. 体操会との協働事業

桔梗が丘体操会をより発展させる為の協働事業。実施は3月から11月末まで。

予算額 30,000円。

5. ききょう健康講座

地域の皆さんの健康啓発を目的にして、健康づくり教室(ベルフラワー教室)と健康講座(9月30日)、集団がん検診、健康体操教室、広報紙の発行(回覧)等の事業を行う。

予算額 230,000円。

6. 桔梗が丘“ほっとまち”構想と協調して事業を進める。

従って予算額の合計は2,370,000円を計上した。

以上の提案説明があった。

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長から、平成24年度住民交流部会の事業計画(案)について、概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、子どもから大人まで地域住民が参加し、様々な催しを楽しみ、親睦を深める。又他地域の人々に地域住民の交流を発信する場とすることを目的にして次の2事業を実施する。」と述べた。

1. 桔梗が丘夏まつり

実施予定日は平成24年8月18日(土)、場所は桔梗が丘商店街で開催する。

予算額は今年度は、縁日費を昨年の1200人に対して300人分増の1500人分45万円とした。

2. ハッピーニューイヤーききょうフェスタ

実施予定日は、平成25年1月12日(土)にハッピーニューイヤーききょうフェスタ、平成25年1月14日(月)にどんど焼きの行事を予定している。

予算額は、どんど焼きの参加者が年々増加傾向にあるので、昨年予算比2万円増の220,000円を計上した。

従って予算額の合計は1,120,000円(除く協賛金分)。

もう1点、桔梗が丘“ほっとまち”構想と協調しての住民交流部会の活動は、地域ビジョンの6つのテーマのうち「元気賑わいほっとまち」の実現に沿って活動することと考えている。

「地域住民の交流機会を創出し、地域コミュニティを育みます。」
「イベントや行事を企画し、地域活動への参画を促進します。」との二つの事業の具体化に向けて、推進プロジェクトと連携しながら、様々な活動計画を策定していかなければならない。イベント行事を企画し、地域活動への参画を促進する活動はほぼ出来ているが、地域コミュニティを育む活動は、自身が教育に携わっていることで、その難しさを感じているが、今年度は、「桔梗が丘が独自の地域コミュニティ」を育む理論作りを、多少時間はかかると思うが始めたいと考えている。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、平成24年度教育文化部会の事業計画(案)について、概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、「地域の子どもは地域で守り・育てよう」を合言葉に、地域内の大人と子どもが交流を図り、距離を近づけることを目的に大きな事業を三つ行う予定をしている。」と述べた。

1. 桔”ずセミナー(第8回)

	<p>1) 夏6講座4回実施(料理、科学、囲碁、手芸、太鼓、よさこいソーラン、)夏まつりに太鼓とよさこいソーランが出演。</p> <p>2) 冬3講座(料理、科学、手芸)ニューイヤーききょうフェスタに協力。予算額は260,000円。</p> <p>2. こころの思い発表会(第16回)</p> <p>現代の子どものこころの思いを作文発表を通じて地域の大人に理解をしていただくことを目的としている。実施予定日は10月20日(土)の公民館展に合わせて実施する。地域内の小中学校から各3名の作文発表と2中学校の音楽演奏会を予定している。予算額115,000円。</p> <p>3. ふるさと歴史ハイキング(第16回)11月10日(土)</p> <p>地域の大人と子どもが交流を図りながら、地域の歴史を学び、ふるさとを愛するところを育てることを目的に実施。</p> <p>行き先等は未定。予算額40,000円。</p> <p>4. 私の一冊文庫</p> <p>桔梗が丘サロンでの本の読み聞かせの協働事業に、本の購入費として助成。読み聞かせ事業以外に、平成24年7月19日(木)から26日(木)まで公民館で絵本展を開く予定。予算額は16,000円。</p> <p>5. 桔梗が丘“ほっとまち”構想と協調して事業を進める。</p> <p>予算額の合計は431,000円となる旨述べた。</p> <p><生活安全部会></p> <p>吉野生活安全部会長から、平成24年度生活安全部会の事業計画(案)について、概ね次のような提案説明があった。</p> <p>「当部会は、防犯、防災、交通安全、住民生活の安全を守ることを目的に活動している。平成24年度は昨年度とほぼ同様に以下の事業活動を計画している。」と述べた。</p> <p>1. 普通救命講習会を年間2回実施。実施日は消防署と協議して決定する。参加予定者は1回25名で合計50名。止血法、異物除去法、心肺蘇生法、AED取扱法を学ぶ。講習の効果と重要性を理解していただき、多くの参加者を募りたいと考えている。</p> <p>2. AEDのレンタルを継続。レンタルはセコム三重県と5年契約し、平成26年まで継続しているもの。</p> <p>3. 防犯パトロールの実施</p> <p>青色回転灯を装着した車で、地域内を犯罪の抑止力として、巡回</p>
--	---

パトロールしている。毎月4回、3コースを2台で巡回。隊員が平成24年度は1名減となるので課題は隊員の確保。

4. 命の笛

平成25年4月に地区内の3小学校の新入児童等に民生児童委員を通じて贈呈する。

5. 自主防災隊

平成23年度スタートした自主防災隊の活動が本格化する。

平成24年度は各地区に於いて年1回の防災訓練の実施を計画している。来年度は中身の濃い、有意義なものとなるようにしていきたい。

6. 桔梗が丘マップの危険箇所の解消、改善取組みを促進する。

常に地域の様子を見て、対処できるようにしたい。

7. 桔梗が丘“ほっとまち”構想が動き出すが、当部会も積極的に参画・協調して事業を進めるようにしたい。

<快適環境部会>

加納快適環境部会長から、平成24年度快適環境部会の事業計画(案)について、概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、昨年実施した地球温暖化対策事業(緑のカーテン事業等)が大変好評であったので、平成24年度も3事業を引き続き実施したいと考えている。」と述べた。

1. 地球温暖化対策事業(緑のカーテン事業)

平成24年5月4日(木)に希望する家庭や公共施設にゴーヤの苗を配付した。

平成24年9月10日～30日(日)に「我が家のゴーヤ自慢展」を開催して、栽培の様子の写真等の掲示を公民館で行う。

平成24年8月20日(月)～9月30日(日)頃までゴーヤお持ち帰りコーナーを設置する。

2. 地球環境保全・教育啓発事業(ほたる観賞会・バードウォッチング)

ホタル観賞・バードウォッチングを通じて地域の自然や住環境を知り、自然に親しむだけでなく、環境をいかに保全し守ることが大切かを学ぶ。近年は親子での参加が多くなり賑わうようになった。(昨年参加者150名)

ホタル観賞会は、6月16日(土)午後7時から9時位までホタルの講話と観賞。場所は南公民館とシャックリ川。

バードウォッチングは平成25年1月6日(日)10号公園と西徳明池の周辺で実施。

3. 桔梗が丘クリーン作戦

平成24年6月3日(日)に実施される「名張市クリーン作戦」に合わせて参加する。又同作戦に同調して活動する自治会を募って団体参加をしていただくことになっている。

4. 他部会と同様、桔梗が丘“ほっとまち”に、当部会も積極的に参画・協調して事業を進めるようにしたい。

以上で、予算額の合計は473,500円となる。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、平成24年度地域福祉部会の事業計画(案)について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、地区の民生委員が中心となって構成し、旧地区社協の事業を継承して活動を行っているが、平成24年度に取組む活動は次の通り予定している。」と述べた。

1. 高齢者、障害者等への友愛訪問

毎月1回地区の民生委員と「陽だまり」を携えて訪問。安否確認と相談・支援活動を実施。

2. 年末友愛訪問

75歳以上のひとり暮らし、75歳以上の高齢者のみ世帯、重度の寝たきりや認知症の方等への友愛訪問。

以上は高齢者等への訪問活動となる。

3. 高齢者のつどいの実施

平成24年5月27日(日)に80歳以上の高齢者間の親睦を深めるつどい。現在155人の申し込みがある。

4. いきいきサロンの実施

地域内14箇所の小地域で、高齢者の絆づくりと、親交を深める目的で開催。年間参加目標数を訂正したが2550人。(1人200円) 予算額510,000円は変わらない。

5. グループホーム交流会

桔梗が丘地域内7箇所の障害者グループホームとの交流会を開催。予算額50,000円

6. 赤ちゃん、ちびっ子なかよし広場。

未就園児とその親のつどいを開催。開催時に使用する備品の痛みが激しいため、整理と一部購入の費用を予算化した。予算額50,

000円

7. 地域高齢者への配食と見守りの協働事業として、配食グループ事業「友～友」及び「いこい」に共同事業として、それぞれ30,000円の合計60,000円を予算化した。

8. 桔梗が丘“ほっとまち”構想に、挙げられた「なんでもお助け隊」の設立されることを期待をしている。

以上で予算額合計は1,140,000円となる。

<協議会会計予算案>

議長：引き続き、協議会会計予算案について説明をお願いします。
大垣副会長（総務委員長）から、平成24年度協議会会計予算案について、総会資料に基き概ね次のような説明があった。

<提案された協議会会計予算案の概要>

収入の部	前年度予算額	平成24年度予算額
会費	1,000,000円	1,000,000円
交付金	10,915,200円	15,618,400円
補助金	260,000円	160,000円
助成金	552,340円	0円
報償費	210,000円	150,000円
雑収入	10,000円	20,000円
繰越金	5,655,050円	3,928,711円
合計	18,602,590円	20,877,111円

- ・ 交付金の基本額、加算額とも前年並み、事務局経費も30万円。但し交付金の総額が大幅に増額になっているのは、人件費が公民館指定管理料から470万円がゆめづくり交付金に振替られた為。
- ・ 全体として収入額が増額となっているが、人件費の振替額を除くと昨年比3,200円増に留まる。
- ・ 市社協からの補助金も規則改定により減額になる。各種の補助金は本年度は無い。
- ・ 報償費収入は、名張市地域環境推進員に支払うもので、年間1人前年の7,000円から5,000円になる。
- ・ 収入予算額については以上の補足説明があった。

支出の部	前年度予算額	平成24年度予算額
総務費	3,187,000円	7,926,200円

企画運営費	350,000円	300,000円
広報費	322,000円	385,000円
健康推進費	2,360,000円	2,370,000円
住民交流費	1,100,000円	1,120,000円
教育文化費	385,000円	431,000円
生活安全費	170,000円	140,000円
快適環境費	597,000円	473,500円
地域福祉費	1,100,000円	1,140,000円
積立金	1,200,000円	200,000円
予備費	1,000,000円	1,000,000円
コミュニイ活動費		
	5,131,200円	5,131,400円
報償費	210,000円	150,000円
次期繰越金	1,490,390円	110,011円
合計	18,602,590円	20,877,111円

- ・ 総務費が前年予算比較増となったのは、人件費470万円及びビジョン新規事業費100万円を組み込んだ為。
- ・ 費用弁償費は、地域ビジョンプロジェクトの進捗を見込んで増額した。
- ・ 防犯防災費は消防団桔梗が丘班への補助金のみ計上した。
- ・ 備品購入費は防災備品の倉庫の購入に充てる予定。地域内3箇所に設置の予定。これは、宝くじ助成金が190万円の助成が決定し、防災備品の保管するため。
- ・ ビジョン新規事業費として、100万円を総務費計上した。
- ・ 各委員会・事業部会の予算額はほぼ申請どおりとした。
- ・ 積立金は車両買換積立金のみとしたい。
- ・ 繰越金は11万円となった。
- ・ 健康推進費の敬老の日の行事に165万円を計上し、交付金基本額にの3分の1を占めているが、地域の高齢者の方を大切に行事として、昨年同様とした。
- ・ 地域福祉部会のいきいきサロンの参加者増に伴い、補助金の支払が増加する。
- ・ 快適環境部会の予算が減額になっているが、事業規模を少し削減した。理由は昨年度は補助金があった関係からです。

議長：引き続き、議案第5号平成24年度公民館事業計画および

<p>(10) 議案第5号 平成24年度公民館事業計画および会計予算の承認に関する件</p>	<p>会計予算について、説明をお願いします。</p> <p><公民館事業計画></p> <p>中村公民館長から、平成24年度公民館事業計画について、総会資料に基づき概ね次のような説明があった。</p> <p><提案された公民館事業計画の概要></p> <p>「平成24年度の公民館運営は森永前館長の路線を引き継ぐ形で行う事としたい。事業計画は総数12教室・講座。新しい講座は3講座、昨年に引き続き開講するものが9講座となる。」と述べた。</p> <p>1. 平成23年度から引き続き開講する9講座</p> <p>「タッチ・ザ・サイエンス」「サロン・ド・シャボナーゼ」「“農”を楽しむ」「しめ縄づくり」「メンネルコール桔梗」「シニアクラス・はな」「活男厨房」「くらしの書道」「パソコン教室」。</p> <p>活動内容は、昨年とほぼ同じになる予定。</p> <p>2. 平成24年度新しく開講する3講座</p> <p>「“書遊”」・・・書道と学遊一緒に楽しく学ぶ。</p> <p>「郷土の歴史を学ぶ」・・・郷土・伊賀、名張の歴史を学ぶ。</p> <p>「写真教室」・・・写真撮影を通じて仲間作り。</p> <p>3. 夏期講座は次の4講座が決定している。毎年7月の土曜日に開催しているが、今年度は講師の都合で一部8月の開催となる。</p> <p>「文学：河原徳子氏・金子みすずと大正ロマン」</p> <p>「音楽：森内啓太氏・フルーツ演奏と講演」</p> <p>「食：橋本文夫氏・食を彩るお酒のお話」</p> <p>「暮し：菊池幸男氏・私達の暮らしと法律」</p> <p>4. 行事は昨年度どおり、「ロビーコンサート」「プチコンサート」「映画鑑賞会」を予定している。</p> <p>5. 資料に記載が無いが、第28回公民館展を10月20日(土)21日(日)に開催が決定している。</p> <p>当公民館は地域住民のコミュニティの場として、生涯学習の場として、幅広く地域の皆さんが集う場を目指して行きたい。</p> <p><公民館会計予算></p> <p>松村理事(事務局次長)から、平成24年度公民館会計予算案について提案があった。</p> <p><提案された公民館会計予算案の概要></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>収入の部</th> <th>前年度予算額</th> <th>平成24年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理料</td> <td>15,022,000円</td> <td>9,898,000円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>3,820,000円</td> <td>4,000,000円</td> </tr> </tbody> </table>	収入の部	前年度予算額	平成24年度予算額	指定管理料	15,022,000円	9,898,000円	使用料	3,820,000円	4,000,000円
収入の部	前年度予算額	平成24年度予算額								
指定管理料	15,022,000円	9,898,000円								
使用料	3,820,000円	4,000,000円								

	その他収入	200,000円	200,000円
	繰越金	6,094,921円	5,177,131円
	合計	25,136,921円	19,275,131円
	支出の部	前年度予算額	平成24年度予算額
	人件費	9,400,000円	4,700,000円
	管理費	9,990,000円	9,214,000円
	運営費	2,170,000円	2,253,000円
	消費税	450,000円	335,600円
	予備費	1,000,000円	2,000,000円
	繰越金	2,126,921円	772,531円
	合計	25,136,921円	19,275,131円
	1.	各項目の目については、資料記載分によって、詳細に説明した。(それぞれの金額は資料記載分参照)	
(質 疑)	議長：	これで議案第4号、議案第5号の提案説明が終わりました。引き続き質疑に入ります。発言される方は、お住まいとお名前を告げて発言して下さい。	
		又、発言は評議員に限らせていただく。ご了承下さい。	
	8番町坂口評議員（快適環境部会）：	公民館館長、職員の給与の支払いを協議会会計と公民館会計からそれぞれ支出する根拠は何か、公民館会計にまとめたほうが分かり易いのではないか。	
		もう1点お聞きしたい。敬老の日の行事の内容について、70歳以上の方全員に記念品贈呈をする必要度はどうか。次年度以降に、見直しを検討してはどうか。よろしくお願ひしたい。	
	議長：	執行部の回答をお願いする。	
	田合監事：	公民館事業は指定管理者制度のもとで人件費を支出していたが、名張市内のほとんどの地区で「地域づくり組織」の事務を公民館職員が担っている事実がある。この事実をもとに名張市側の意向で人件費負担を明確にする為に、指定管理料とゆめづくり交付金で半額づつ交付されることになった。	
	大垣副会長：	理事会に於いてもこの問題は議論されたが、市側に確認し、それぞれの会計から支出することに決まった。	
	辻森会長：	敬老の日の行事内容については、健康推進部会によるアンケート、これを受けた自治連合会及び理事会での議論を経てこのようになった。その理由は、年に一度民生委員の協力を得て、各	

<p>5. 議事終了のあいさつ</p>	<p>自治会が、高齢者宅を訪問するのは意義がある。今後は費用のことを考慮すると検討の余地はあると考えています。</p> <p>そのようにご理解いただきたい。</p> <p>議長：そのほかにご意見はございませんか。</p> <p>議長：質問がないようなので採決に移ります。議案第4号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。</p> <p>全員賛成であります。よって、議案第4号は原案のとおり承認されました。</p> <p>引き続き、議案第5号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。</p> <p>全員賛成であります。よって、議案第5号は原案のとおり承認されました。</p> <p>お手元の各資料の(案)の文字を抹消いただきたい。</p> <p>以上で本日の議事は全て終了いたしました。これにて退席いたします。ご協力有難うございました。</p> <p>(拍手)</p> <p>(議長、副議長退席)</p> <p>司会者：長時間にわたるご審議有難うございました。ここで本日来賓としてご出席いただいた名張市地域部長の奥村和子氏から、ご挨拶を頂戴します。</p> <p>(名張市・奥村地域部長の挨拶の要旨)</p> <p>長時間にわたりご苦勞様でした。多くのご議論の中で、皆さん大変熱心に取り組まれていることに感銘した。</p> <p>前年度の評価・反省まで至っている地域は当地域だけです。</p> <p>名張市側の費用の出し方については、田合監事さんのご説明のとおりで、市としても今後ともより有効的な方向を探っていきます。</p> <p>まちづくり制度は10年目の節目の年を迎えた。ここで一度原点に戻り、過去を振り返り、今後の方向をより良いものとして行きたい。</p>
<p>6. 閉会の辞</p>	<p>上田副会長から、「今年度から副会長に就任しました。よろしくお願ひします。本日の長時間に亘る審議有難うございました。今後とも協議会の活動にご支援、ご協力をお願いします。奥村部長さん最後までお付き合いいただき有難うございました。」と挨拶を述べた。</p> <p>司会者：以上で本日の予定は全て終了いたしました。</p> <p>これを持ちまして平成24年度定時総会を閉会いたします。長時間</p>

にわたり、ご審議をいただき有難うございました。
(拍手)

議 長 原田忠義 (西)

議事録署名人 澤田進 (西)

議事録署名人 西幸雄 (西)

会 長	副会長	副会長	総務委員長	書 記
(西)	(西)	(西)		(西)